

5歳児から小学校低学年までを連続した時期として捉えた指導計画 内容項目一覧表「文字・言葉」「国語」

記号		5歳児					1年生			2年生				
		1期	2期	3期	4期	5期	1・2期	3・4期	5期	1・2期	3・4期	5期		
AA	【言葉】言葉の働きに気付いたり、文字を文や文章の中で使ったりする。				○		○	○	○		○	○	○	
AB	【言葉】言葉の働きや使い方を考えたり、主語や述語の関係に気付いたりする。		○			○	○	○	○	○	○			○
AC	【言語文化】読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。		○			○			○			○	○	
AD	【言語文化】昔話や神話、伝承などの読み聞かせを聞いたり、言語文化に親しんだりする。		○			○		○				○	○	
AE	【言葉】音節と文字、語の意味やアクセントなどに気を付けて音読したり会話したりする。					○	○	○	○	○		○		
AF	【言葉】語彙を豊かにし、丁寧な言葉と普通の言葉の違いに気を付けて使う。										○			
AG	【情報】共通・相違・事柄の順序などや、情報と情報との関係について理解する。				○			○		○				
AH	【話聞】互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐ。	○	○	○		○			○					○
AI	【書】文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付ける。		○	○	○				○					○
AJ	【読】文章を読んで感じたことや分かったことを共有する。				○				○					○
AK	【話聞】相手に伝わるように、話す事柄の順序を考える。	○						○				○		
AL	【話聞】話の要点を落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ。		○			○		○				○		
AM	【書】語や文の続き方に注意し、書き表し方を工夫する。				○			○				○		
AN	【書】書いた文章を推敲する。				○			○				○		
AO	【読】文章の中の重要な語や文を考えて選び出す。		○					○				○		
AP	【読】場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像する。			○	○			○				○		
AQ	【読】文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもつ。						○					○		
AR	【話聞】伝え合うために必要な事柄を選ぶ。	○				○	○			○				
AS	【話聞】伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや話す速さなどを工夫する。	○		○		○	○			○				
AT	【書】書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にする。					○	○			○				
AU	【書】自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。				○		○			○				
AV	【読】説明的な文章についての内容の大体を捉える。						○	○		○				
AW	【読】文学的な文章についての内容の大体を捉える。		○		○		○	○		○				

